

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	050201 家庭教育支援推進事業					
	施策体系	050112 (幼児教育) 家庭や地域の教育力の向上				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務			
対象	・地域の人々 ・思春期のこどもを持つ保護者や子育て中の保護者					
事務事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のすべての家庭を、地域社会全体で支えるために地域の人々に親性を育む。 ・誰もが子どもの見守り手になれるような市民の資質と意識づくりをはじめ。 ・大学等の関係機関と連携し、園発・学校発の家庭教育支援の充実に努める。 					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て講座（子育てに関する講座を幅広い年代に受講してもらうことで、親として、地域としての役割を再確認してもらう。） ・地域支援者養成講座 ・その他家庭教育支援推進に関すること 					
計画法令	橋本市の教育					
成果指標	1. 子育て講座参加人数 2. 地域支援者養成講座参加人数					
活動指標	1. 子育て講座開催件数 2. 地域支援者養成講座開催件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[人]	37.00	134.00	64.00	100.00
	成果指標2	[人]	87.00	83.00	90.00	97.00
	活動指標1	[回]	5.00	1.00	1.00	1.00
	活動指標2	[回]	5.00	5.00	5.00	5.00
活動指標3	[]					
成果効果	<p>子育て支援講座も地域支援者養成講座についても周知方法としては、広報、公民館報、facebook、LINEでの掲示、各園、学校でチラシを配布するなどして行った。子育て講座については、講師の先生の知名度も高く、H27年度に比べると参加人数が増加した。子育てをこれから行う人、子育て中の人、子育てを終えた人など、どの世代からも「子どもとの関わり方を見直すいい機会になった」との声が多く寄せられた。</p> <p>地域支援者養成講座は、参加者が支援者としての活動に興味を持ってもらえるように、実際活動されている方を対象に講座を開いた。参加者の中には「自分もやってみよう」との声もあり。一定の効果を得た。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	マニフェストに掲載されている事業であり、地域で子育てを支援することに興味を持ってもらえるよう、子育て講座、地域支援者養成講座を開催すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	2,895	188	309	248	302
	直接費	事業費	(6)	2,895	188	309	248	302
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	2,895	188	309	248	302
	人件費	人件費	(9)	6,030	2,022	2,615	2,543	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.68	0.23	0.30	0.35	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.02	0.00	0.00	0.01	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.70	0.23	0.30	0.36	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	8,925	2,210	2,924	2,791	302	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	135	34	45	44		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	地域支援者養成講座事業
	2	その他家庭教育支援推進に関する業務
	3	子育てセミナー事業
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	050202 家庭教育支援チーム事業					
	施策体系	050112 (幼児教育) 家庭や地域の教育力の向上				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成20年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	保育園・幼稚園・小学校・中学校・サークルの保護者					
事務事業目的	教師と保護者並びに保護者同士の良好な関係づくりをした上で地域とも地縁的つながりを目指す。 各家庭の子育て方法や家庭教育の再点検を促し、保護者同士の交流の中で、家庭教育の向上を目指す。					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームは講座部・広報部・家庭訪問部から構成されている 講座部 - 授業参観や就学時健康診断時等の保護者が集まる様々な場で語り合い保護者同士の絆作りや学校との関係作りのきっかけとする。 家庭訪問部 - 福祉部局、園、学校の連携のもと、孤立しがちな家庭を訪問し、先輩ママとして若いママの思いや悩みを聞き助言・アドバイスを行う。 広報部 - 家庭教育情報誌「げんきっこfamily」を年4回発行している。 					
計画法令	計画 橋本市の教育 ・ 法令 教育基本法					
成果指標	1. 講座参加人数 2. 家庭訪問のべ回数					
活動指標	1. 講座依頼数 2. 家庭訪問依頼件数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[人]	2,640.00	2,859.00	2,780.00	2,567.00
	成果指標2	[回]	56.00	44.00	33.00	86.00
	活動指標1	[回]	74.00	80.00	99.00	85.00
	活動指標2	[件]	1.00	5.00	3.00	9.00
	活動指標3	[]				
成果効果	<p>H28年度は、前年度に引き続き、保育園・幼稚園・小学校・公民館等から講座依頼があり、多くの講座を開催した。ものづくりや食育、語り合いなどの講座を通して、和やかな雰囲気の中、参加者同士のふれあいがあった。アンケートでは「子育ての疲れを忘れて楽しい時間を過ごせた」という意見も多くあった。</p> <p>沖縄県石垣市教育委員会や大阪府など外部からの講師依頼や視察があり、注目の高さが高かった。また、教員を目指す大学生の実習視察依頼もあった。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	学校や行政機関と連携して、家庭訪問部門を強化していく。講座については、今までと同様に親同士のつながりづくりを念頭に置いて展開していくこと。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	1,038	1,360
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	1,339
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	1,495	1,461
		一般財源	(5)	2,475	2,435	2,383	1,322	0
	直接費	事業費	(6)	2,475	2,435	2,383	3,855	4,160
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	2,475	2,435	2,383	3,855	4,160
	人件費	人件費	(9)	5,391	3,657	4,872	3,422	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.62	0.43	0.57	0.41	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.01	0.00	0.00	0.01	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.63	0.43	0.57	0.42	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	7,866	6,092	7,255	7,277	4,160	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	119	93	112	113		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	家庭教育講座
	2	家庭教育情報誌(げんきっこfamily)発行事業
	3	家庭訪問業務
	4	その他家庭教育支援チームに関する業務
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03020001

教育委員会事務局

学校教育課

事務事業	050306 元気な森の子事業					
	施策体系	050121 (学校教育) 教育内容の充実				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成23年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体			
	事業区分3	県費補助事業	事業区分4			
対象						
事務事業目的	<p>地元の主要産業の一つある林業や森林の話を実際の現場で働く人に聞くことにより地域の産業への理解を深め、実際に林業体験を行うことにより林業や森林への関心を高める。また、環境問題からの森林の存在を考える。</p>					
事務事業内容	<p>事前学習として森林の種類、林業の仕事などについて知識を得る。 森林体験学習として間伐体験や奥の院の大杉林の観察をする。 事後指導として事前学習や体験活動で学んだことをより深く調べ、まとめる。</p>					
計画法令	和歌山県補助金等交付規則					
成果指標	希望学校数					
活動指標	参加児童数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[校]	2.00	4.00	5.00	8.00
	成果指標2	[]				
	活動指標1	[人]	106.00	318.00	336.00	414.00
	活動指標2	[]				
	活動指標3	[]				
成果効果	<p>1日日程から手軽に実施できるプランを提供したことも影響し、実施校の増加が見られた。本事業を活用して、森林体験等の体験活動をとおりて自然環境についての学習を進めることができている。普段意識することの少ない、里山の重要性や森林の重要性について体験をとおりて学習する機会を得られており、高い学習効果を挙げることができている。</p>					
評価	今後の方向性	他事業との整理・統合				
	<p>校外教育として有益。県費補助100%が続く限り、引き続き実施していく。但し、補助が無くなる若しくは補助率の変更等あれば事業廃止を検討する。林業振興のための事業であるため、農林振興課の林業振興業務との連携し、教育委員会学校教育課で実施すること。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	832	2,417	2,968	3,040	6,864
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	0	0	0	0	0
	直接費	事業費	(6)	832	2,417	2,968	3,040	6,864
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	832	2,417	2,968	3,040	6,864
	人件費	人件費	(9)	91	4,730	929	1,362	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.01	0.45	0.10	0.15	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.06	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.01	0.51	0.10	0.15	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	923	7,147	3,897	4,402	6,864	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	14	109	60	69		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03020001

教育委員会事務局

学校教育課

		050308 適応指導対策事業				
事務事業	施策体系	050121 (学校教育) 教育内容の充実				
	事業区分1	検査・監督・指導事務	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	法定受託事務		
対象	児童・生徒自身や学校、家庭、地域等で児童生徒に関することで悩みを抱えている人					
事務事業目的	いじめや虐待、不登校、不適応等の未然防止・早期発見に努め、相談体制の充実を図り、その解決、軽減に努める					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・相談員等がカウンセリングやプレイセラピー等の相談活動を実施する ・不登校児童生徒の関係者によるケース会議を開催し、具体的対応を協議し、関係機関と連携して支援する ・不登校児童生徒がくつろぎ、学習し、自己に向き合い、心的エネルギーの補給を行うための居場所を提供する ・教職員や関係者に対して、研修会を実施する 					
計画法令	橋本市教育相談センター設置及び管理条例、他					
成果指標	不登校児童・生徒数					
活動指標	不登校、不適応などの未然防止・早期発見・早期対応のため、児童・生徒・保護者への相談活動を実施する。また、不登校の予防対策の一環として、ケース会議の機能を充実させ学校支援を行う。 相談件数 相談実施回数					
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績	
	成果指標1	[人]	67.00	57.00	54.00	49.00
	成果指標2	[]				
	活動指標1	[件]	350.00	433.00	455.00	784.00
	活動指標2	[回]	2,766.00	3,062.00	2,948.00	3,498.00
	活動指標3	[]				
成果効果	<p>多くの方に利用頂いている。対応したケース数は784件3,488回であった。また、対応したケースの61.9%において来室された方(子ども・保護者・教員)の悩みが軽減するなど解決及び改善の成果が見られた。つまり、子ども・保護者・教員が教育相談を受けることで、適切な子育て・指導を行うことができ、子どもにとってもよい影響が見られた。また、学校訪問を行い教職員へのコンサルテーションを行うことで、来室相談につながるなど未然防止の成果が見られた(小学校へ2,569回中学校へ867回)。</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>学校教育と心理の双方に関する専門的な知識を持った教職員の養成・確保を早急に行う必要がある。また、関係機関との連携構築を図るため、それぞれの役割を明確にし、調整する役割が相談センターに求められている。今後は近隣の医療機関との連携を円滑に行うための仕組み作りが必要。さらに、教育相談センター内に設置されている適応教室(憩の部屋)の周知を図るため、学校訪問などを通して啓発を行うこと。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	240	240	266	238	262
		一般財源	(5)	14,719	15,190	11,771	11,937	15,029
	直接費	事業費	(6)	14,959	15,430	12,037	12,175	15,291
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	14,959	15,430	12,037	12,175	15,291
	人件費	人件費	(9)	10,196	10,569	19,182	18,575	
		(正職員数:賦課)	(10)	1.05	1.00	2.00	2.00	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.07	0.14	0.07	0.05	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	1.12	1.14	2.07	2.05	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	25,155	25,999	31,219	30,750	15,291	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	381	397	482	479		

事業達成のための細事業	整理番号	名称
	1	教育相談センター運営業務
	2	その他適応指導対策業務
	3	不登校児童生徒対策委託事業
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03020001

教育委員会事務局

学校教育課

事務事業	050324 その他教育振興業務（学校教育課）				
	施策体系	050121 （学校教育）教育内容の充実			
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~	
	事業区分2	継続	実施主体	市	
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務	
対象	市立小中学校の児童・生徒、橋本市内学校関係者・保護者・地域の方				
事務事業目的	学力を向上させること。 学校・保護者・地域が一体となって子どもを育てる意識を高めること。				
事務事業内容	橋本市独自に学力調査の実施 教育フォーラムの開催				
計画法令					
成果指標	1.橋本市標準学力調査において全国平均を上回っている学校の割合 2.教育フォーラムへの参加人数				
活動指標	1.学力調査の参加校 2.教育フォーラムに係る実績				
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[%]		40.90	37.50
	成果指標2	[人]		500.00	480.00
	活動指標1	[校]		22.00	20.00
	活動指標2	[円]		374,982.00	142,240.00
	活動指標3	[]			
成果効果	橋本市標準学力調査は、平成27年度から始まった事業である。4月の段階で行うことで、現状の学力の把握とその対応策を練ることができ、1年間を見通した教育計画に役立った。また、全国学力・学習状況調査や和歌山県学習到達度調査に向けた対応策としても役立った。教育フォーラムは「橋本市の教育」について、学校関係者だけではなく、保護者の方や地域の方にも理解いただく機会として、また、三者が共に考え学び合える機会として開催できたことは、大きな成果であった。				
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続			
	橋本市標準学力調査は、各校で結果分析をするようお願いしている。その後の対応として、web支援システムを活用できれば、個に応じた学力向上計画が可能となるが、コスト増となるため難しい。現状維持が妥当であると考え、物件費削減に向けた候補の一つと捕らえている。教育フォーラムは、今後の継続について検討する。教育研究委託については、一定の手順を踏んで実施するとともに実績もあり適切な予算執行を行っていると認識している。				

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	3	877
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	3,700	0	0	0	4,600
		その他	(4)	67	73	81	111	165
		一般財源	(5)	9,290	8,975	15,301	8,030	8,554
	直接費	事業費	(6)	13,057	9,048	15,382	8,141	14,196
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	13,057	9,048	15,382	8,141	14,196
	人件費	人件費	(9)	0	0	0	6,312	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.00	0.00	0.00	0.70	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.00	0.00	0.02	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.00	0.00	0.00	0.72	
		トータルコスト (6)+(9)	(13)	13,057	9,048	15,382	14,453	14,196
		住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150	
		市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	198	138	237	225	

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03020001

教育委員会事務局

学校教育課

事務事業	050404 児童・生徒通学補助事業					
	施策体系	050122 (学校教育) 教育環境の充実				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成18年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	市単独事業	事業区分4	自治事務		
対象	信太小対象者、隅田小で河瀬・下兵庫・霜草・山内・平野に居住かつバス通学希望者他					
事務事業目的	児童生徒の通学の安全確保と保護者の経済的負担軽減を図る					
事務事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地から通学校までに係るタクシー運料金の全額を市が補助する。 ・隅田町内3小学校統合により、通学に路線バスの利用を必要とする市立隅田小学校の児童に路線バスの定期券を市が交付する 					
計画法令	橋本市へき地児童生徒援助事業実施要綱 他					
成果指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信太小学校タクシー送迎実績額 2. 隅田小学校バス定期交付実績額 					
活動指標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 信太小学校タクシー送迎利用人数 2. 隅田小学校バス定期交付児童数 					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[円]	703,350.00	0.00	0.00	0.00
	成果指標2	[円]	7,319,760.00	6,988,270.00	6,983,050.00	7,200,670.00
	活動指標1	[人]	2.00	0.00	0.00	0.00
	活動指標2	[人]	193.00	181.00	177.00	183.00
	活動指標3	[]	18.00			
成果効果	昭和42年の隅田小学校への統合に伴う、公共交通機関での通学承認から始まって、長い歴史の中で時代に添った対応をしてきた。					
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続				
	通学補助制度の公平性の確保の観点から、事業の縮小・廃止を実現できるよう引き続き研究すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	0	0	0	0	0
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	8,304	6,988	6,983	7,201	6,864
	直接費	事業費	(6)	8,304	6,988	6,983	7,201	6,864
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	8,304	6,988	6,983	7,201	6,864
	人件費	人件費	(9)	599	529	436	412	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.07	0.05	0.05	0.05	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.00	0.01	0.00	0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.07	0.06	0.05	0.05	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	8,903	7,517	7,419	7,613	6,864	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	135	115	115	119		

事務事業達成のための細事務事業	整理番号	名称
	1	へき地児童生徒援助費等補助事業
	2	隅田小学校児童・生徒通学補助事業
	3	その他児童・生徒通学支援に関する業務
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	050501 放課後子ども教室推進事業					
	施策体系	050123 (学校教育)開かれた学校づくり				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成19年度 ~		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	国県補助事業	事業区分4	自治事務		
対象	市内未就学児、小学生					
事務事業目的	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する					
事務事業内容	放課後や週末等に小学校の空き教室等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組みをすることによって子どもの居場所作りをする					
計画法令						
成果指標	ボランティアの参加人数(延べ)					
活動指標	1. ルームの実施回数 2. 通学合宿参加者数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[人]	2,390.00	3,157.00	1,540.00	2,133.00
	成果指標2	[]				
	活動指標1	[箇所]	32.00	33.00	21.00	21.00
	活動指標2	[人]	36.00	43.00	35.00	31.00
	活動指標3	[]				
成果効果	<p>地域のボランティアの方々との協力を得ることで、子どもたちは、様々な体験や交流をすることができた。地域の方々にとってもふれあいルームに参加することが生きがい、喜びとなっており、子どもと地域の方々、地域の方々同士、子ども同士が親しく交流することができ地域の繋がりが深まっている。</p> <p>また、土曜、日曜、祝日には体験活動を中心とした講座を行った</p>					
評価	今後の方向性	現状どおり継続				
	<p>ふれあいルームの企画、調整、によりコーディネーター1人あたりの負担が大きく、各学校での開催日が重なるなどの日程調整、ボランティアの配置等に苦慮している。各種講座参加者やふれあいルームで活動していただいているボランティアにコーディネーターをお願いしていく。また、土曜講座を実施するにあたり業務量が増え、事業内の整理をしていく必要がある。ふれあいルームには学童利用者も参加しており、事務局、学校、コーディネーター、学童での連携を強化するため、協議の場を設ける必要がある。</p>					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)	0	0	0	0	0
		都道府県支出金	(2)	3,258	3,236	2,732	2,536	3,066
		地方債	(3)	0	0	0	0	0
		その他	(4)	0	0	0	0	0
		一般財源	(5)	1,629	1,618	1,366	1,268	1,536
	直接費	事業費	(6)	4,887	4,854	4,098	3,804	4,602
		うち人件費	(7)	0	0	0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)	4,887	4,854	4,098	3,804	4,602
	人件費	人件費	(9)	6,077	4,076	3,793	3,712	
		(正職員数:賦課)	(10)	0.80	0.87	0.76	0.74	
		(正職員数:配賦)	(11)	0.02	0.01	0.00	0.02	
		職員数合計(10)+(11)	(12)	0.82	0.88	0.76	0.76	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)	10,964	8,930	7,891	7,516	4,602	
	住民基本台帳人口	(14)	66,069	65,479	64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)	166	136	122	117		

事務事業達成のための細事事務事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	050502 土曜日等子ども教室推進事業					
	施策体系	050123 （学校教育）開かれた学校づくり				
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成27年度 ~ 平成28年度		
	事業区分2	継続	実施主体	市		
	事業区分3	国県補助事業	事業区分4	自治事務		
対象	市内未就学児、小学生					
事務事業目的	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する					
事務事業内容	小学校の空き教室や公民館等を利用し、地域の方の参画を得ながら、子ども達が体験活動等を行う場づくりを推進していく					
計画法令						
成果指標	1. ボランティアの延べ参加人数					
活動指標	1. ルームの実施回数					
目標達成状況			平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[人]			1,509.00	851.00
	成果指標2	[]				
	活動指標1	[回]			15.00	231.00
	活動指標2	[]				
	活動指標3	[]				
成果効果	<p>地域のボランティアの方々の協力を得て実施することで、子どもたちは、様々な体験や交流をすることができ、地域の方々にとってもふれあいルームに参加することが生きがい、喜びとなっている。子どもと地域の方々、地域の方々同士、子ども同士が親しく交流でき地域の繋がりが深まっている。</p> <p>平成29年度からは、放課後子ども教室推進事業に統合した。</p>					
評価	今後の方向性	一部現状どおり継続				
	引き続き事業は実施するが、土曜日等子ども教室推進事業については、放課後子ども教室推進事業へ統合すること。					

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)			0	0	
		都道府県支出金	(2)			1,042	710	
		地方債	(3)			0	0	
		その他	(4)			0	0	
		一般財源	(5)			521	355	
	直接費	事業費	(6)			1,563	1,065	
		うち人件費	(7)			0	0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)			1,563	1,065	
	人件費	人件費	(9)			0	2,076	
		(正職員数:賦課)	(10)			0.00	0.50	
		(正職員数:配賦)	(11)			0.00	0.01	
		職員数合計(10)+(11)	(12)			0.00	0.51	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)			1,563	3,141		
	住民基本台帳人口	(14)			64,793	64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)			24	49		

事務事業達成のための細事事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		

平成29年度 事務事業評価シート（平成28年度 事務事業分）

所属 03030001

教育委員会事務局

社会教育課

事務事業	050503 子どもの居場所づくり事業				
	施策体系	050123 (学校教育)開かれた学校づくり			
	事業区分1	ソフト事務事業	事業期間	平成28年度 ~ 平成30年度	
	事業区分2	新規	実施主体	市	
	事業区分3	国県補助事業	事業区分4	自治事務	
対象	小学生				
事務事業目的	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する				
事務事業内容	小学校等の空き教室や公民館等を利用し、地域の方の参画を得ながら、学習支援や大人との交流活動を行う子どもの居場所づくりを推進する。				
計画法令					
成果指標	1. ボランティアの延べ参加人数				
活動指標	1. 活動回数				
目標達成状況		平成25年度実績	平成26年度実績	平成27年度実績	平成28年度実績
	成果指標1	[]			361.00
	成果指標2	[]			
	活動指標1	[]			126.00
	活動指標2	[]			
	活動指標3	[]			
成果効果	地域のボランティアの方々の協力を得て実施することで、子どもたちは学習や様々な交流活動をすることができ、ボランティアの方々にとっても活動に参加することが生きがい、喜びとなっている。子どもと地域の方々、子ども同士、地域の方同士が親しく交流することにより地域の繋がりが深まっている。				
評価	今後の方向性	現状どおり継続			
	H28年度からの新規事業であるが、実施箇所が4箇所となっており、ボランティアや参加者の確保に苦慮している。				

(単位：千円)

		NO	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
			実績	実績	実績	実績	当初予算	
コスト分析	財源内訳	国庫支出金	(1)				0	0
		都道府県支出金	(2)				525	446
		地方債	(3)				0	0
		その他	(4)				0	0
		一般財源	(5)				0	165
	直接費	事業費	(6)				525	611
		うち人件費	(7)				0	
		人件費以外(6)-(7)	(8)				525	611
	人件費	人件費	(9)				0	
		(正職員数:賦課)	(10)				0.00	
		(正職員数:配賦)	(11)				0.00	
		職員数合計(10)+(11)	(12)				0.00	
	トータルコスト (6)+(9)	(13)				525	611	
	住民基本台帳人口	(14)				64,150		
	市民一人当たりのコスト (13)/(14) (単位:円)	(15)				8		

事務事業達成のための細事事業	整理番号	名称
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
20		